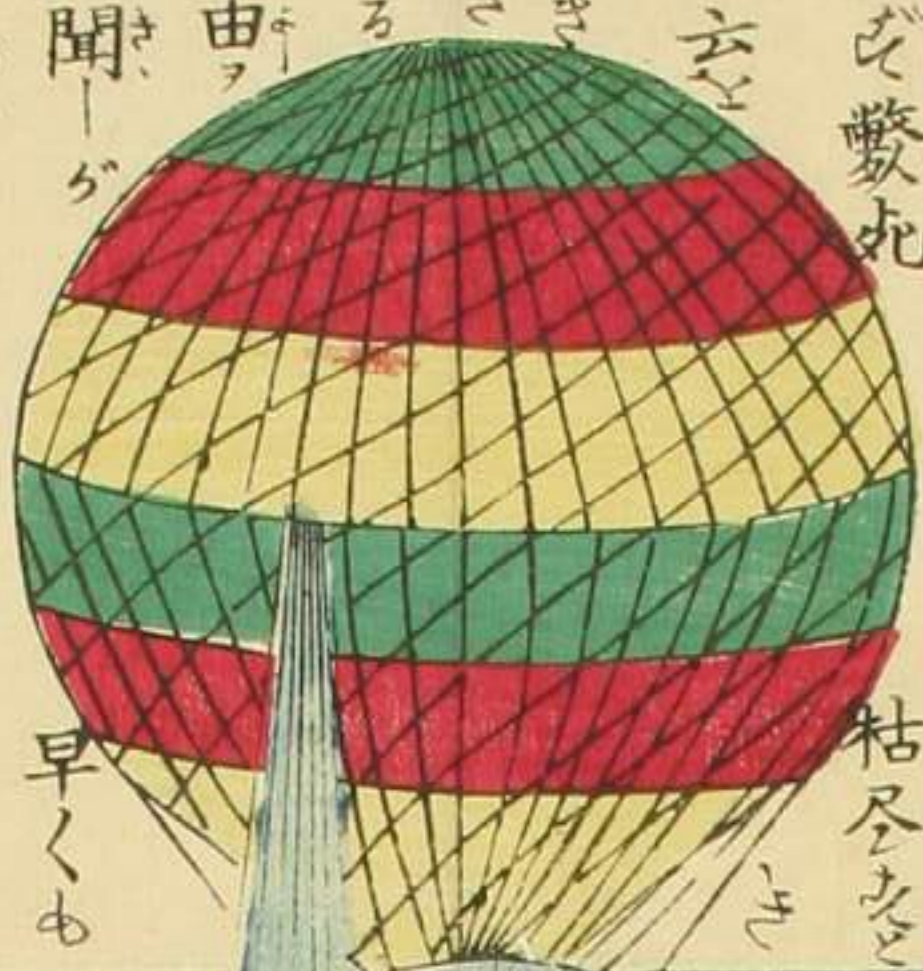




壺界轉覆奇談

御届明治十四年九月廿一日

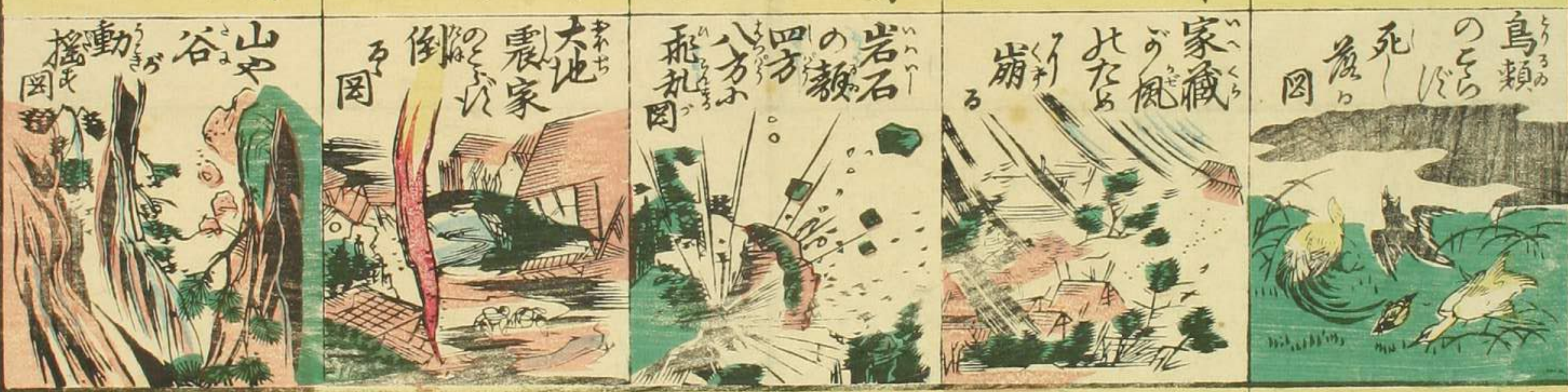
聞説く今より四百年の
 其の推測せし紀元千
 八百八十年十一月十五日即
 ち我々明治十四年十一月十五
 日よりの日数十五日の内は天地
 潰れ山岳破裂して大火山成
 現出河川溢れて洪水となり
 地上は人間禽獸草木等残り
 枯死
 壺界轉覆の奇談
 英國のハリスコニヤリと云ふ
 二歳の子あり固く世界轉
 覆の浮説を妄信し千辛万苦
 て天に天に近及急ぎ輕氣球
 に乗
 轉覆せんとする日よりの乗
 り高く宙より其害を避け身と
 全せん計り誠不可思議の
 考へざる可し今下圖を以て
 其日の景況をかり



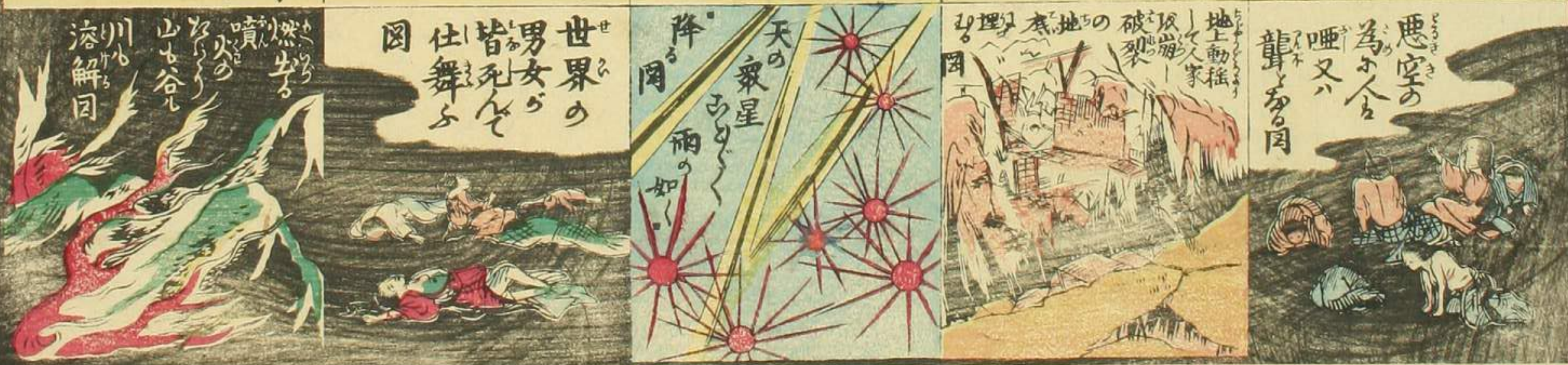
第一日目 第二日目 第三日目 第四日目 第五日目



第六日目 第七日目 第八日目 第九日目 第十日目



第十一日目 第十二日目 第十三日目 第十四日目 第十五日目



上圖の如く其日の景況也
 想像せしものや之の往昔の
 大洪水の如く又
 の世は天柱折さ
 地維欽るの變り
 其も固く信ず
 足らざる説かり自ら
 シンシヤリの如き
 世界の消滅と恐
 る此と空中より
 とも如何せん空無
 引通ふ如く引カ
 引カ
 通る
 震の空気の如く
 震動を以て自然の理にて奇
 苦心焦慮も畫餅に属せんと
 する以て思ふがかり以上
 傳聞此も以て記せるもの
 して取り取り足らざる
 妄説あり此妄説と誤るこ
 となく安全し其此
 ちるるをんとし願
 也



編輯 芝原宮本一
 出版 燕平野傳吉